

2026 脱炭素・環境経営先進企業視察会

このたび、環境保全への認識を高め新たな環境ビジネス事業化への一助としていただくため、下記のとおり視察会を開催いたします。この機会に是非ご参加ください。

- 日 程 令和8年6月9日（火）〔9:20JR 小倉駅集合、15:30JR 小倉駅解散〕
- 視察先 1. 白島展示館〔福岡県北九州市若松区響町 1-108〕
2. 北九州響灘洋上ウインドファーム〔福岡県北九州市若松区向洋町 10-20〕
3. J-POWER 若松総合事業所・若松研究所〔福岡県北九州市若松区柳崎町 1〕
- 定 員 30 人（定員になり次第、締め切ります）
- 対 象 広島商工会議所会員 および ひろしま地球環境フォーラム会員
- 参加料 5,000 円／人（集合・解散場所までの交通費は各自負担）
※貸切バス代、昼食代、旅行傷害保険代、消費税含む
※5 月末日までにメールにて請求書をお送りいたしますので、期日までにお振り込みください。なお、5 月 29 日以降のキャンセルは、参加料をご負担いただきます。
- スケジュール（予定） ※移動：貸切バス
JR 小倉駅 集合 → 白島展示館 → 北九州響灘洋上ウインドファーム
9:20 10:00～10:30 10:45～11:30
→ 昼食 → J-POWER 若松総合事業所・若松研究所 → JR 小倉駅 解散
11:50～12:50 13:15～14:45 15:30
- 申込方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、**5月8日（金）**までに FAX にてお申し込みください。6 月 2 日頃に詳細スケジュールをお送りいたします。

【お問い合わせ先】 広島商工会議所 中小企業振興部 産業支援課 西村

〒730-8510 広島市中区基町 5-44 TEL (082) 2 2 2 - 6 6 9 1 / FAX (082) 2 2 2 - 6 0 0 6

-----（切り離さないで FAX してください）-----

産業支援課行

[FAX : (0 8 2) 2 2 2 - 6 0 0 6]

2026 脱炭素・環境経営先進企業視察会（6/9） 参加申込書

ふりがな 会社名				
所在地	〒			
TEL/FAX	(TEL)			(FAX)
当日連絡先	(携帯 TEL)			
E-mail (必須)	@ ご記入のアドレスに請求書をお送りいたします。 送付元アドレス「 hiroshimacci@rbjetbead.eco-serv.jp 」からの受信設定をお願いいたします。			
役職名		ふりがな 氏名		(年齢 6/9 時点) 歳 (性別)

※ ご記入いただいた情報は、旅行傷害保険加入手続きを行うために利用するほか、広島商工会議所からの各種連絡・情報提供を行うために利用いたします。そのほか、参加者の実態調査・分析に利用するほか、会社名・役職名・氏名につきましては、視察先およびひろしま地球環境フォーラム（事務局：広島県）に情報提供いたします。

視察先概要

白島展示館

<https://museum.shirashima.jp/>



北九州の洋上にある「白島国家石油備蓄基地」の役割や概要を知ることができる展示館。館内展望室からは、約70万キロリットルの石油を備蓄した8基の大型船が並ぶ圧巻の基地を一望できる。

白島国家石油備蓄基地：わが国への石油供給途絶や国内災害時における石油供給不足に備え建設された洋上石油備蓄基地。世界最大の洋上備蓄基地として1996年8月に完成し、石油の安定供給に備えている。原油約560万キロリットル（70万キロリットル×8隻）の備蓄能力を有する。



出典：白島国家製油備蓄基地ホームページ

北九州響灘洋上ウインドファーム

<https://hibikiwindenergy.co.jp/>



ひびきウインドエナジー(株)が進める「北九州響灘洋上ウインドファーム」は、北九州市若松区沖の響灘において、南北1～10km、東西11kmの海域に設備容量9,600kWの大型風車を25基設置し、最大出力22万kW、ジャケット式(着床式)の発電所として、20年間にわたり発電事業を行うもの。この発電規模は、完成時点では国内最大の洋上風力発電所となる。2023年3月13日から建設工事を開始し、2026年3月に商業運転を運転開始した。

視察当日は、当事業について北九州市エコタウンセンターより説明を伺い、対岸から洋上に建つ風車を見学する。



出典：ひびきウインドエナジー(株)ホームページ

J-POWER 若松総合事業所・若松研究所

<https://www.jpowers.co.jp/learn/facilities/wakamatsu/index.html>



昭和30年代に運転を開始したJ-POWER初の石炭火力発電所(1989年に営業運転終了)が前身。若松総合事業所においては、石炭火力発電所から発生する石炭灰の埋立管理、敷地造成事業を行う。また、実際に火力発電所で用いられている制御室と同じ設備を要する運転訓練シミュレーターがあるトレーニング施設を整備。若松研究所においては、カーボンニュートラルと水素社会実現に向けた技術開発を行っており、その成果は、大崎クールジェン(OCG)実証プロジェクト(広島県大崎上島)に継承、反映された。



出典：北九州産業観光ホームページ